



前回に紹介しているとおり、フォーインは創業以来これまで主に北米・欧州・アジアなど自動車産業にかかる特別調査報告書を「地域的」単位に発行してきました。しかし、21世紀にはいつて世界自動車産業界の動きは年を追う毎にグローバルな変化が激しくなり、その競争・競合と協力関係はますます多面かつ多角的になってきました。

そこでフォーインでは、2008年度からこれまでの地域別調査スタイルに加えて、広く世界的視点からの調査/研究/報告書の充実を進めています。

世界自動車メーカー年鑑 2011

- 新興国市場の需要急増、先進国市場の低燃費シフトに対応した経営資源の再配置-
- 世界45社の経営戦略、事業展開概要の最新情報を収録するイヤーブック
- 中国長安汽車、BYDを追加し、台頭する新興国メーカーの収録内容を充実
- 自動車各社の成長力を環境技術競争力と新興国戦略から分析(特集)

世界自動車統計年刊 2010

- 2009年の世界79カ国販売と47カ国生産データを収録、世界の趨勢を把握!!
- 金融危機の深度と回復速度を分析!!
- 2021年まで地域別・国別に市場予測!!
- 各國生産・販売・輸出を長期グラフ化!!
- 100万台超国はモデル別データを充実!!
- 国別販売データから自動車メーカー各社の世界事業バランスを鳥瞰!!

世界部品企業の生き残り・発展計画

- 電動化と新興国対応を中心に再構築進む成長戦略-
- 戦後最大の危機に直面する世界自動車部品産業の成長課題を徹底研究!!
- 過去の成功を支えたプラットフォーム戦略、モジュール戦略のリスクを検討!!
- 新たな先進国・新興国事業バランス、コスト戦略、製品・技術戦略を分析!!
- 分野別技術動向と日米欧部品26社の生き残り・発展計画を分析!!

『FOURIN世界自動車メーカー年鑑』は、2002年の創刊以来、世界主要自動車メーカーの組織・人事、製品・生産、部品調達、販売、研究・開発、海外展開等の基礎的な情報に加えて、経営戦略、事業提携など、企業戦略の分析上重要な項目の最新動向を収録するイヤーブックとして、内容を充実させてまいりました。2011年版では世界45社の経営概況を収録するとともに、特集として自動車メーカーの今後の成長力を規定する新興国事業と環境技術獲得に向けた戦略分析を掲載いたしました。

目次紹介

目次紹介

- 第1章 世界自動車メーカーの競争ポジション
・特集:成長への課題となる新興国での地位確立と、
・先進国での環境技術を軸とした競争力強化
・世界自動車メーカーの経営・経営戦略比較
・世界自動車メーカーの生産・販売ランキング

- 第2章 米国自動車メーカー
GM 欧州GM
Ford 欧州Ford
Chrysler Navistar PACCAR

- 第3章 歐州自動車メーカー
VW Daimler BMW
Audi Porsche MAN
PSA Renault
Fiat Iveco
SEAT
AB Volvo Scania
Skoda

- 第4章 日本自動車メーカー
トヨタ 日産 ホンダ
三菱 マツダ いすゞ
スズキ 富士重 ダイハツ
日野 三菱ふそう UDトラックス

- 第5章 アジア自動車メーカー
現代自 起亜
上汽集團 中国一汽 東風汽車
中國長安 奇瑞汽車 吉利汽車
比亞迪汽車(BYD) Tata Motors Mahindra & Mahindra
Proton

■発行:2010年12月7日 ■体裁:A4判、344頁
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込



世界自動車技術年鑑 2010

電動化で変わる新技術ロードマップ

- 世界の自動車産業が競う新製品・新部品・新技術動向を定常整理!!
- ブランド戦略の鍵握る世界自動車メーカーの独自技術戦略を分析!!
- 世界の新技術開発・採用動向を、エンジン・駆伝動・制動・操舵・懸架・車体・機構・内装・電装・電子・空調・安全・通信・娛樂等から報告!!
- 自動車技術トレンドを変える世界各国環境・安全規制動向を収録!!



世界自動車メーカーの小型車競争

急増続ける世界小型車市場での拡張へ、低コストと環境技術、新たな魅力を競う

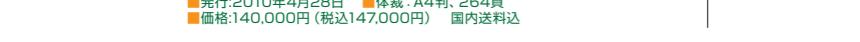
- 世界自動車各社の小型車戦略を地域別販売とともに鳥瞰!
- 世界32ブランド小型車100モデルの製品・販売動向を整理!
- 2009年5割超、2021年6割超となる世界小型車市場を展望!!
- 日米欧とBRICS、ASEANの小型車市場と競争焦点を分析!!
- 世界小型車322モデルの2015年までの更新計画を収録!!
- 保有・人口統計から小型車の中長期保有・販売趨勢を予測!!

収益悪化と販売不振に直面する世界の自動車産業は工場閉鎖や人員削減を進めている一方、世界的に強化されるCO₂排出規制に対応するためにハイブリッド車や電気自動車開発技術、いわゆる電動化技術の開発を強化しています。自動車部品各社は激動の経済情勢の中、コア製品・技術を中心とした成長戦略の再構築を進めています。新製品・技術の開発・採用動向をメーカー・製品別に整理・分析する年鑑として企画・編集いたしました。

掲載内容紹介

- 第1章 世界の自動車技術展望 1
世界自動車産業の競争力を決定する戦略技術
世界的環境・安全規制の強化と技術の獲得競争
特集:電動化で変わる新技術ロードマップ
- 第2章 世界自動車メーカーの技術戦略 53
VW/スズキ/トヨタ GM Ford/マツダ Daimler
Renault/日産 PSA/三菱自 Fiat/Chrysler
- 第3章 エンジン・エンジン部品分野の新技術動向 183
代替エンジン、燃料電池、CNG/LNG、水素燃料、
ハイブリッドシステム、バッテリーEV、直噴システム
- 第4章 駆動部品分野の新技術動向 209
変速機:5/6/7/8AT, CVT, MT, 6MT, DCT, AMT
アクチュエーター:ランプクリーLSD, ドライバクル, CVI
- 第5章 シャシ部品分野の新技術動向 219
制動部品:ABS, TCS, VSC, ESP, 回生ブレーキ

■発行:2010年4月28日 ■体裁:A4判、264頁
■価格:140,000円(税込147,000円) 国内送料込



| | | |
|------------|----------------------|-------------------|
| 営業部 | Tel:(052)789-1101(代) | Fax:(052)789-1147 |
| 中國部 | Tel:(052)789-1186 | Fax:(052)789-0967 |
| 歐州部 | Tel:(052)789-1136 | Fax:(052)789-0966 |
| 米州・大洋洲部 | Tel:(052)789-1143 | Fax:(052)789-1121 |
| 日本部 | Tel:(052)789-1179 | Fax:(052)789-1275 |
| 世界 | Tel:(052)789-1145 | Fax:(052)789-0969 |
| 英語製品部 | Tel:(052)789-1187 | Fax:(052)789-0967 |
| 世界自動車産業図書館 | Tel:(052)789-1139 | Fax:(052)789-1140 |
| FOURIN会 | Tel:(052)789-0978 | Fax:(052)789-1147 |

FOURIN ニュース



2011年 1月号

発行日: 2011年1月1日 (1.4.7-10月の1日)

発行: 株式会社フォーイン営業部

〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292

TEL:052-789-1101(代) FAX:052-789-1147

http://www.fourin.jp

購読: ホームページに閲覧PDFあり(無料)

送付: 定期送付の希望はホームページから

No.15

2011年

1月号

発行日: 2011年1月1日 (1.4.7-10月の1日)

発行: 株式会社フォーイン営業部

〒464-0025 名古屋市千種区桜が丘292

TEL:052-789-1101(代) FAX:052-789-1147

http://www.fourin.jp

購読: ホームページに閲覧PDFあり(無料)

送付: 定期送付の希望はホームページから

2010年に回復から拡大に転じ、2011年に一層の拡大が見込まれる世界市場 新興国・小型車比率の上昇と電動化に対応するため、世界で合從連衡が進展

世界79カ国の自動車販売は2009年に前年比4.3%減の6,506万台、世界47カ国の自動車生産は2008年末までの在庫調整分が加わって12.9%減の6,247万台となりました。こうした中でも、中国と印度は早い段階で最悪期を脱して回復、50%増と15%増の販売拡大を実現。先進国でも、主要政府の販売インセンティブの奏功により高水準の販売を実現したことから、世界販売は当初予測された1,000万台減を免れ300万台減に緩和されました。

2008年後半以来の世界不況で、Bosch、デンソー、Magna始め殆どの世界部品メーカーが赤字軒落するなど世界の部品業界は戦後最悪の事態に直面。世界企業26社を中心に、地域戦略・コスト戦略・技術戦略を含む成長戦略の再構築動向を分析し、課題を抽出しました。

目次紹介

- 総論、世界自動車部品産業の生き残り計画 1
◇世界自動車メーカーの生き残り・発展計画 4
◇世界自動車部品メーカーの生き残り・発展計画 8

第1章 生き残るためにの事業展開 21

1. 先進国市場の成長と安定その回復に向けた魅力の提案 22

- ◇電気化・ハイブリッド車 22
◇小量化、軽量化 22
◇電動化による変化と対応 22

2. 新興国市場の成長化と新しい成長を前にした準備 34

- ◇A/Bセグメント 34
◇Cセグメント 34
◇輸入・国内車両中古車 34
◇新興国めぐる基盤競争 34

3. 世界プラットフォーム戦略と部品産業への影響 50

- ◇プラットフォーム戦略の功罪 50
◇収益性のないパワートレイン技術 50
◇部品メーカーの集約による自動車メーカーとの協力関係 56
◇直面される自動車メーカーとの協力関係 58

4. 世界自動車部品産業の再編動向 60

- ◇再編を促す要因変化 60
◇再編を促す新たな要因 60
◇部品メーカー間提携動向 60

第2章 生き残るためにのコスト戦略 77

1. 生き残るためにの生産コスト削減戦略 77

- ◇生産コストの削減戦略 77
◇次次品の品別化 77
◇グローバル内業化 77

2. 生き残るためにの開発コスト削減戦略 92

- ◇グローバル内業化 92
◇自動車会社との共同開発 92

3. 生き残るためにの販路拡大戦略 100

- ◇世界の販路の維持・拡大 100
◇新興国販路 100
◇非自動車部品・補修部品 100

第3章 生き残るためにのコスト削減戦略 111

1. コア技術・部品の強化と先進技術品の獲得 111

2. パワートレイン・シャシー部品分野の新製品技術動向 116

- ◇エンジン部品 116
◇駆動部品 116
◇シャシー部品 116

3. 車体・外装部品分野の新製品技術動向 132

- ◇内外装・車体・機械構造部品 132
◇電電子部品 132
◇空調・安全・快適装備 132

第4章 生き残るためにの品質・技術戦略 145

1. アイシン精機 145
トヨタ精機 145
トヨタ精機 145

2. フォード 145
マツダ 145
マツダ 145

3. プジョー 145
ルノー 145
ルノー 145

4. フォルクスワーゲン 145
ボルボ 145
ボルボ 145

5. フィアット 145
ダッジ 145
ダッジ 145

6. フォード 145
マツダ 145
マツダ 145

7. フォルクスワーゲン 145
ボルボ 145
ボルボ 14



世界自動車調査月報

- 欧州・北米中心に現地取材報告を交えて自動車・市場・部品産業動向を調査分析
- 欧米主要自動車・部品メーカーの経営戦略・事業展開を様々な視点から分析
- 世界の自動車業界を一望する特集を掲載、BRICs特集も充実
- 中近東、アフリカ、中南米、大洋州の自動車市場・産業動向も毎号掲載
- 卷末に月次世界別生産(27カ国)・販売(46カ国)統計、世界メーカー別シェア動向を収録

世界自動車市場は新興国の需要拡大や米国販売の好転で2009年後半以降回復に向かっており、自動車産業を取り巻く危機的状況は緩和されつつあります。しかし自動車業界全体で約3,000万台の過剰生産能力を抱えておりコスト削減圧力が増す中で、自動車各社は欧米などで強化が進む環境規制への対応に加え、新興市場におけるプレゼンス拡大に向けた製品開発投資・戦略が求められる厳しい環境下にあります。

『FOURIN世界自動車調査月報』では、北米5本、欧州6本の定期リポートで世界主要メーカーの戦略、各市場動向、産業動向や政策動向を詳細に報告するほか、中南米・大洋州と中近東・アフリカで毎月それぞれ1カ国毎の定期リポートを掲載。さらに世界主要サプライヤーの動向、注目の自動車部品・材料技術に関するレポートに加え、世界主要各国の月次生産・販売速報、世界自動車各社の販売台数・シェアも掲載しています。

■発行:毎月5日 ■体裁:A4判・標準66頁 ■創刊:1987年5月
■購読料:年間192,000円(税込201,600円) 国内送料込
半年108,000円(税込113,400円)



アジア自動車調査月報

- アジアの発展を成長機会に変える
- 産業政策・制度変更を迅速に報告
- 現地系メーカーの成長戦略を分析
- 日米欧系各社のアジア戦略を分析
- 月次自動車生産・販売統計を掲載

アジアは近年、世界の成長センターとして注目を集めています。インドでは、低価格車による市場競争が激化するとともに、輸出拠点・開発分業拠点としての役割が増大。タイでは2010~2012年から新型小型車や次世代ピックアップの生産が加速します。また、韓国では現代自が拡大路線を進めるとともに、環境戦略車・部品の生産が始まっています。当月報では、これらの市場動向や産業政策、自動車メーカーの事業戦略などをレポートします。

■発行:毎月20日 ■体裁:A4判・標準53頁 ■創刊:2007年1月
■購読料:年間168,000円(税込176,400円) 国内送料込
半年 96,000円(税込100,800円)



ロシア・中東欧自動車産業

- ロシア自動車産業の現状を報告
- 中東欧ロシアメーカーの経営戦略
- 各国自動車・部品産業の概要を収録
- 日欧米韓自動車メーカーの

中東欧事業展開を分析

ロシアの乗用車市場は、中期的に300万台規模への成長が期待されます。この機に、世界の自動車メーカーがロシア生産計画を決定、現地生産計画を進めています。また、欧州向け供給拠点としての地位を固めつつある中東欧諸国・トルコでも、新規工場稼働や能力強化計画が活発です。本書は、現地取材で得た情報を基にロシア・ウクライナの自動車産業を展望するほか、中東欧・トルコ各国の自動車産業の現況を報告いたします。

■発行:2007年9月 ■体裁:A4判・261頁
■価格:160,000円(税込168,000円) 国内送料込



中国自動車調査月報

- 中国自動車産業/市場/政策運営を速報
- 毎号15本、年間180本のレポート掲載
- 自動車・部品、二輪車経営動向を把握
- 産業政策、技術規格規制動向報告
- 月次生産・販売・税関データを収録

『FOURIN中国自動車調査月報』は、1996年4月の創刊以来、中国自動車産業・市場・政策運営にかかる全般動向を、購読者にタイムリーな情報提供に努めてきました。毎号には、業界から注目される特集記事2本と、民族系や外資系自動車・部品メーカー、業界動向レポート14本計15本の構成となっております。是非とも弊誌の新規購読または購読のご継続を賜りたくお願い申し上げる次第であります。

■発行:毎月月末 ■体裁:A4判・標準65頁 ■創刊:1996年4月
■購読料:年間168,000円(税込176,400円) 国内送料込
半年 96,000円(税込100,800円)



日本自動車調査月報

- 日本自動車各社の成長戦略を分析
- 部品各社の事業戦略をレポート
- 小型車/次世代環境車戦略を分析
- 国内の政策/規制や市場動向を分析
- 世界生産・販売の月次データを掲載

日本自動車産業は、電動化による次世代環境戦略と低価格車による新興国戦略を軸に成長戦略を推進しています。同時に昨今の円高進行が業界各社の収益を圧迫する中、世界最適生産・調達体制の早急な構築が問われています。

『FOURIN日本自動車調査月報』は、日本自動車産業の事業環境・成長戦略を多角的に分析。完成車・部品各社の経営戦略・製販体制・製品/技術動向、調達政策など、分析対象は多岐にわたります。

■発行:毎月15日 ■体裁:A4判・標準62頁 ■創刊:1999年4月
■購読料:年間168,000円(税込176,400円) 国内送料込
半年 96,000円(税込100,800円)

米国電気自動車開発競争

- 連邦政府と加州の燃費規制を詳報
- 電動化推進と市場成長性を展望
- 米国市場向けHEV、PHEV、EV等製品スペック概要を収録
- 自動車各社の次世代車戦略を分析

米国では、地球温暖化対策へ改めて燃費規制を強化するほか、政府が電気自動車普及方針を掲げております。また、米国市場を舞台に世界の主要自動車メーカーが電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車の開発計画を強化しております。本調査資料は、米国の自動車環境規制と産業政策の最新動向をまとめるとともに、日米欧韓の自動車メーカーが米国市場向けに計画するハイブリッド車、プラグイン・ハイブリッド車、電気自動車などの環境車戦略動向を分析するものです。

■発行:2009年11月 ■体裁:A4判・212頁
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込

欧州自動車産業

- 各社の小型車・環境戦略を分析
- 欧州環境規制・各国税制を解説
- 欧州市場の構造変化・主要動向
- 欧州9社の経営動向を詳細分析
- 日本8社の欧州車事務動向を収録

欧州では2012~2015年のCO₂規制強化を前に130gを目指す燃費競争が本格化しています。欧州市場では低燃費車需要が高まりつつあり、欧州車は需要に見合った製品・技術戦略の策定が急務となります。日本メーカーにとって限られた資源を効率的に配分する経営手腕が問われます。本書では、欧州メーカーの経営分析を行なうほか、2010年代の競争関係を左右する各社の小型車・技術開発戦略を徹底分析いたしました。

■発行:2009年3月 ■体裁:A4判・313頁+CD
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込

北米自動車部品産業

- 北米部品産業の再編動向を詳報
- 自動車各社の生産調整動向を追跡
- 日本部品産業の北米事業を分析
- 米系59社、欧州系26社、日系39社の事業概要・経営動向を収録

北米自動車生産が1年で約250万台縮小した2008年、部品サプライヤーの苦境は自動車メーカーより深刻と言われ、北米企業だけでなく、近年業務拡大を進めていた日・欧の外資系企業が相次いで経営戦略を見直しています。本書は、自動車生産縮小と量販セグメントの小型化が引き起こす事業環境の変化と、非コア事業売却や不振サプライヤーの淘汰により新しい勢力図を構成しつつある部品業界の動向を詳報します。

■発行:2009年3月 ■体裁:A4判・326頁
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込

欧州自動車部品産業

- 部品メーカーのBRICs事業を分析
- 自動車各社の調査動向を報告
- 日本部品産業の北米事業を分析
- 米系59社、欧州系26社、日系39社の事業概要・経営動向を収録

欧州の自動車部品業界は、自動車産業へのCO₂削減要請を成長機会ととらえ、次世代の製品技術を競って提案しております。一方、中国、印度等のBRICsの事業を強化・新興国市場向けの超価格車への対応を積極的に推進しています。本書では、2010年代の成長に向けた二つの課題を特集、環境安全技術への提案を活発化する欧州部品産業の最新動向と、新たな挑戦を始動した新興国事業展開の分析に焦点を当てて報告します。

■発行:2009年3月 ■体裁:A4判・336頁+CD
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込

米国市場後退の深化と回復シナリオ

- 現地取材を通じて中南米自動車・部品産業の現状、成長見通しを報告
- 世界メーカーの中南米事業を分析
- サプライヤーの事業概要を詳報
- 中南米11カ国自動車市場を分析

南米では旺盛な自動車需要に対応し主要自動車メーカー各社が現地事業拡大に向けた投資を強化しています。特に、VWが新Golを投入、RenaultがLoganの現地生産をブラジルで開始するなど、現地市場向けの戦略投入が活発化しています。本書では主要自動車各社の現地事業戦略に加え、サプライヤーの事業動向を掲載し、中南米自動車・部品産業の現状と発展見通しを報告致します。

■発行:2009年9月 ■体裁:A4判・259頁+CD
■価格:140,000円(税込147,000円) 国内送料込

韓国自動車・部品産業

- 韓国自動車・部品産業及び国内市場の現状を報告
- 市場回復見通しと競争焦点を分析
- Big3の経営再建策と行方を展望
- 日本自動車産業の北米依存と脱却のための戦略課題を分析

2008年秋以降の米国市場縮小に、世界の主要自動車メーカーが経営悪化に直面しました。資金難に陥った米国メーカーの再生見通しが注目されています。本書は2008年11月に米国にて行った緊急取材の報告書です。2008年の変化から米国自動車市場の回復に向けた見通しを分析し、今後の自動車メーカー間の競争焦点を展望、回復局面における米国自動車メーカーと日本自動車メーカーの再生・発展の可能性を展望しております。

■発行:2009年2月 ■体裁:A4判・295頁
■価格:48,000円(税込50,400円) 国内送料込

欧米自動車部品メーカーの新興国事業展開

- 欧米部品メーカー250社の新興国2,430拠点の概要を収録
- 欧米部品メーカーの新興国への新規・増産投資動向を詳細報告
- 世界自動車各社の新興国拠点掲載

先進国の自動車販売が均一化し新興国市場が拡大を続ける中、世界の自動車産業は新興国シフトを強化。欧米自動車メーカーの現地生産に対応するとともに、低コスト輸出拠点としての活用を強化しています。

欧米主要部品メーカー250社の新興国52カ国2,430拠点概要と新規投資動向を収録。世界自動車各社の新興国生産拠点も掲載。

■発行:2007年3月 ■体裁:A4判・377頁
■価格:74,000円(税込77,700円) 国内送料込

新興国向け戦略車の国際競争力

- 新興国戦略車52モデルを解剖
- 価格・品質・性能バランス分析
- 日米欧韓部品67社の事業分析
- 欧州部品120社の事業概要
- 各国部品産業政策の現状分析

アジアでは、過去5年間で自動車輸出が200万台・生産が800万台に拡大し、部品産業に多大な発展機会をもたらしました。各国政府は更なる発展めざし自動車産業政策を刷新。小型車優遇で自国市場の拡大を後押しする一方、自動車部品産業・軽工業・農業育成と国際競争力を獲得を目指しています。

当調査報告書は、インド超低コスト車投入競争、タイEco Car開発競争など、アジアを中心に戦闘される新興国向け戦略車競争を分析しました。

■発行:2008年11月 ■体裁:A4判・243頁
■価格:95,000円(税込99,750円) 国内送料込

中国自動車部品産業

- 中国自動車製造技術取り組みを報告
- メーカー14社の購買方針を総括
- 主要モデルの部品調達先を掲載
- 中国系30社、外資系35社の事業分析
- 中国7,400社のダイレクトリー

2008年後半以降、中国自動車部品産業において、効率的な投資、収益確保に向けたコスト削減の厳格化、取引先の多様化を軸とした戦略の転換が問われています。本書は、「設備投資」「コスト削減」「取引関係の変化」の3視点から、自動車メーカー14社の購買方針、車種別セグメント別部品調達、24業界別動向、部品メーカー65社の事業動向を分析し、中国自動車部品産業の競争力を総合的に検証します。

■発行:2009年9月 ■体裁:A4判・293頁+CD
■価格:120,000円(税込126,000円) 国内送料込

中国新エネルギー車産業の実態

- 中国のPHEV/EV産業育成戦略を解明
- 中国政府のEV霸権獲得戦略を分析
- 充電インフラの整備状況を収録
- 地方政府の新エネ車育成計画を整理
- 電気二輪車育成政策・市場動向を分析

中国政府は新エネルギー車(次世代EV/PHEV等)分野における世界的な覇権の獲得をめざした動きを活発化させています。中央政府と地方政府は、新エネルギー車の産業育成とともに普及を支える充電インフラ・産業インフラの整備を進めています。一方、電気二輪車や簡易電動車など中国独自の製品市場育成を目指しています。『制度・政策+インフラ+資源編』では、制度・政策を中心に中国の新エネルギー車産業をレポートします。

■発行:2010年10月 ■体裁:A4判・81頁
■価格:60,000円(税込63,000円) 国内送料込

中国新エネルギー車産業の実態

- 電動車モデルの開発動向を徹底調査
- 中国自動車企業の新エネ車戦略を分析
- 電動二輪車企業の事業戦略を整理
- 関連サプライヤーの事業動向を報告
- 新エネ車普及に向けた技術課題を解析

中国自動車企業は、新エネルギー車開発を強化していますが、日系メーカーが技術的に先行するHEVでの正面対決を回避し、中国政府から強力な支援